

森林クラフトの素材配布

関東森林管理局東京事務所では、毎年10月第1週の週末、近隣の都立木場公園において開催される一般社団法人東京都木材団体連合会（都木連）と東京都主催の「木と暮らしのふれあい展」に協賛・参加しています。森林クラフトが作製できるブースを設置し、子供を中心にどんぐりや松ぼっくりを使った工作を楽しんでもらっていました。



しかし、今年も新型コロナウイルス感染症の拡大により2年連続でイベントが中止となりました。このため、昨年に引き続き東京事務所の敷地内で森林クラフトの素材を配布しました。

これらの素材は、木場公園でのイベントと同様に、どんぐりや松ぼっくりなどに、金や赤、緑などの色を付けたものや、クリスマス等に使えるリースの土台などです。また、どんぐり等を使った森林クラフトやクリスマスリースの見本を作製したほか、間伐材の輪切り、ツキ板クラフト用の作製キット、いろいろな種類のツキ板を絵のように貼った缶バッチも用意しました。

さらに、関東森林管理局と高尾森林ふれあいセンターの広報誌などを配布し、国有林や林業のPRを行いました。緑の募金のご協力も併せてお願いしました。



お散歩の途中に寄ってくれた園児さん達

当初は10月の4日間限定で配布を予定していましたが、予想を超える来所があり、11月にも3日間追加して配布を行いました。配布予告は、1週間前から東京事務所の掲示板にポスターを貼り出しただけでしたが、多くの方に来ていただきました。



配布した素材の例

今年の配布も楽しみにしていた方、ご近所の保育園の園児さんたち、幼稚園の保護者の口コミで来た方などです。「こんなたのしいおかいものはじめて!」と目をキラキラさせて袋いっぱい詰めていた男の子、「クラフト作っていたら素材が足りなくなった!」と何回も来てくれた方もいました。特に人気だった素材は金色に色付けしたどんぐりや松ぼっくりなどで、季節柄、クリスマス関連の素材として人気でした。さらに電話での問い合わせも何件かあり大変うれしいことでした。



見本の森林クラフトの例



ツキ板で作ったオーナメント

緑の募金として多くの募金をいただき、ご理解とご協力を感謝します。その全額を公益社団法人国土緑化推進機構へ寄付しましたので報告します。



ツキ板で作った缶バッチ



モミジバフウで作った見本